

本当に救急車が必要ですか？

緊急でないのに救急車を呼ぶ人が増えています。

浦添市の救急車の数は10年前に比べ1台増えただけですが、出動件数は10年間でなんと約2倍に増加しています！搬送された方の約52％は、入院の必要のない方でした。

このままでは・・・

本当に緊急な事態への対応が遅れ、救命率に影響が出るおそれがあります！
救急車はタクシーではありません！

緊急性がなく自力で病院に行ける場合は、可能な限り自家用車か公共の交通機関などを利用しましょう。

※傷病者の様子や事故の状況などから急いで病院へ連れて行ったほうがいいと思ったときは、迷わず119番通報をしましょう！



**本当に必要なその人のために！
救急車の適正な利用にご協力ください！**



救急救命士：前田智也

これまでにたくさんの方を救急車で搬送しましたが、中には指を少し切っただけの方や、単なる発熱のみの方、入院予定日なので病院へ連れて行って欲しいなど、緊急性がないと思われる搬送がたくさんありました。

救急車は出動から活動をすべて終えて病院から引き揚げるまでに通常1時間程度かかります。

その間に一刻を争う傷病者が発生することが一番怖いですね。

浦添市の救急状況（平成20年中）



浦添消防本部では4台の救急車を配備しています。救急車には隊員3名が乗車し、24時間体制で市内全域の救急要請に対応していますが、出動件数は年々増加傾向にあります。

本署（前田）2台 牧港出張所1台 内間出張所1台

浦添市の救急車出動
出動件数：4,074件（搬送人員3,835人）
現場への救急車平均到着時間：約5分（全国平均より1分以上早い！）

搬送人員内訳

急病	2,103人
交通事故	399人
一般負傷	474人
自損・加害	87人
火災・水難事故	7人
その他（転院搬送など）	765人

傷病程度別割合

重症（入院3週間以上）	497人
中症（入院1～20日）	1,251人
軽症（入院必要なし）	2,009人
死亡・その他	78人

携帯電話で119番できるの？

浦添市内から一般の固定電話で119番に通報すると、すべて前田にある浦添消防署の通信指令室につながり、そこで最寄りの消防署へ出動指令をかけます。

携帯電話も同様で、浦添市内から通報すると浦添消防署につながります。しかし、他市町村との境界線付近で通報すると、別の市町村の消防署通信指令室につながってしまうことがあります。この場合でも、すぐに浦添消防署へ転送し、つなげてもらえるので慌てないでください。



問い合わせ
浦添市消防本部 総務課
☎875-0119



救急隊出動！

9月9日は救急の日です

救急業務について知っていますか？



「救急の日」と「救急医療週間」を知っていますか？
毎年9月9日を「救急の日」、この日を含む1週間を「救急医療週間」としています。救急業務に対する正しい理解を深めましょう。



救急車を呼んだら消防車も一緒に来た！
消防車は呼んでないのにどうして？

これは*PA連携（※Pはポンプの「P」、Aはアンビュランス（救急車）の「A」を表す）といい、救急隊と消防隊が連携して活動することです。救急隊だけでは搬送が困難なケースもあり、消防車も出動させ、人員を増やすことで救急活動を迅速かつ安全に行い、救命率の向上や搬送先病院までの時間短縮を目的としています。消防車にもAEDや応急資機材が積載しており、消防隊員も救急隊員と同じ資格を持った隊員が乗っています。

どんなときにPA連携するの？

119番通報時に、傷病者の心肺停止や重症が疑われるとき

レスキュー隊の活動を伴うとき

救急車が別件に出動中で到着まで時間がかかり一時的にポンプ車の隊員で対応するとき

救急隊だけでは傷病者の搬送が困難なとき
例：3階以上の建物、傷病者が複数いるなど

傷病者や救急隊の安全を確保する必要があるとき
例：交通量の多い道路での活動、傷病者が興奮状態など

そのほかにも救急隊の活動を支援する必要があるとき



連携！

浦添消防では平成20年中にPA連携出動が445件（全救急出動の約1割）ありました！救急活動の迅速化、円滑化のためにPA連携へのご理解をお願いします！！